

当院で術後再建腸管に対する胆膵内視鏡処置を受けた患者さんまたはご家族
の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 術後再建腸管症例に対する受動湾曲機能付き大腸内視鏡およびバルーン内視鏡を用いたERCPの有効性の比較検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 北海道大学病院 消化器内科 栗谷 将城

[研究代表機関名・研究代表者名・所属] 市立札幌病院 消化器内科 加藤 新

[研究の目的]

受動湾曲機能付大腸内視鏡を用いた術後再建腸管に対する胆膵内視鏡処置の成績と問題点を後方視的に検証するため。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2016年1月1日から2021年6月30日までに、北海道大学病院で術後再建腸管症例に対する ERCP（胆膵内視鏡処置）をうけた方。

○利用するカルテ情報

- ・年齢、性別、身体所見、病歴、診断名、治療歴、症状、生存情報、偶発症の有無、ドレナージ対象、原因疾患および過去の手術内容（再建法等）
- ・血液検査データ
- ・各種画像検査（内視鏡検査、X線検査、CT検査）内容
- ・吻合部・乳頭部到達率、挿管率、手技完遂率
- ・総手技時間および吻合部・乳頭部到達に要した時間

上記のカルテ情報は、臨床成績の解析のために、市立札幌病院に電子的配信で送付します。

[研究実施期間]

実施許可日～2023年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 11 条西 13 丁目
市立札幌病院消化器内科 担当医師 加藤 新
電話 011-726-2211

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目
北海道大学病院 消化器内科 担当医師 栗谷 将城
電話 011-716-1161